

大学入試の基礎知識 vol.27 【倍率 1 倍の大学入試って?】2024.12.1

高校入試と違って大学入試の受験者と合格者の倍率はすごく高く見えます。10 倍以上というところも珍しくないですからね。そんな大学入試において、倍率が 1 倍や 1 倍台があるってご存じでしょうか? 倍率 1 倍は受験した人の全員が合格、1 倍台は 2 人に 1 人以上が合格ということです。しかも早稲田、慶応や関関同立など有名・難関大学なんです。

低い倍率の入試方式は…

倍率が高い傾向にあるのは、一般選抜です。それに対して学力のみで勝負する一般選抜ではなく、総合型選抜を利用しての入試の場合、倍率が低いことが多い傾向にあります。全国的に見ても、倍率の平均が国公立大学は 2.4 倍、私立大学が 3.4 倍(ともに 2024 年度)とかなり低くなっているのが分かります。

落とし穴も…

と言っても、いいことばかりではありません。大学・学部によっては専願での募集、つまり合格したらそこに進学することが前提のところもあります。また一般選抜における偏差値のように難易度の指標となるものはありません。出願条件や課される試験内容が大学・学部によって大きく異なるからです。

もちろん低倍率だからといって、全員が合格するわけではありません。そして何より自分の興味関心のある学部・学科であることが大前提です。

総合型選抜とは…

以前の記事にも書きましたので、ここではざっくりと総合型選抜を復習しておきましょう。かつては AO 入試と呼ばれていました。ペーパーテストによる知識偏重型の入試ではなく受験生の意欲や大学・学部との相性を測る入試方式です。書類選考、小論文、面接、プレゼンなどを通して総合的に判定します。私立大だけでなく国公立大でも実施されていて、共通テストなどで学力を測るものと学力は問われないものがあります。

倍率が低い総合型選抜の例

大学	学部	学科	倍率	出願条件
同志社大	文学部	英米学科	1.6	評定平均 4.0 以上かつ外国語が 4.1 以上
関西学院大	教育学部	教育学科	1.0	探究活動を実施し、発表の経験がある(学校内の発表でも可)
立命館大	文学部	国際文化学域	1.1	英検 2 級以上
関西大学	外国語学部		2.2	全体の評定平均 4.1 以上 英語と国語の評定平均がそれぞれ 4.0 以上

(参照:ゼロから知りたい総合型・学校推薦型選抜・かんき出版)



今、未来につながる学力を!
個別指導専門塾
未来アカデミー

590-0953 堺市堺区甲斐町東2-1-6 未来アカデミービル 3F・4F
TEL:072-232-0567 定休日/日曜
受付時間/平日11:00~22:00 土曜9:00~19:00

